

子どもとつくる楽しい国語・文学の授業の新展開(3)
教師のホスピタリティをいかす〈ことばの教育〉
—子どもへの〈もてなし〉ということ—

いま政治の課題として、教育改革のことが大いに取りざたされています。

この小さな研究会は、子どもたちの表現力や言語生活を育み、ゆたかにすることを大切にしています。子どもの表現やことばは、教師の〈もてなし(ホスピタリティ)〉によって、ひらかれ、意欲的なものになってくるということは、つづりかた教育実践が教えているところです。

そこで、このたびの研究会では、〈もてなし〉ということを中心に、ホスピタリティを研究課題にしている若き院生と、校内フォト新聞の実践を積み重ねているベテラン教師を迎え、ことばの教育の原点に立ち返りながら、いま問われている教育のありかたについて、カフェふうに語らいたいと考えています。

ひきつづき、どうぞ、よろしくお願いいたします。

□ 日 時 12月16日(日) 午後1時30分(13:30)から午後5時(17:00)

□ 場 所 <http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~nibujm/acsess.html>

大阪教育大学・天王寺キャンパス 416教室

543-0054

大阪市天王寺区南河堀町4-88

(JR寺田町南口が便利)

* 問い合わせ先 国語教育第一研究室

toshiya@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

Fax 06-6775-6626

http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~toshiya/2010/jdc_001.htm



□ 時 程

13:30~13:45 あいさつ(田中俊弥) 「子どもへの〈もてなし〉ということ」

13:45~14:45 研究発表とその討論

「読むこと」の授業に活かしたい教師のホスピタリティ

大阪教育大学大学院・実践学校教育専攻一年次 長崎 励向

15:00~16:45 実践発表とその討論

子どものなかに自然をみつめる〈眼〉を育てる校内フォト新聞の試み
—2010年度からの三年間の実践にもとづいて—

増田 俊昭(東大阪市立荒川小学校・つづりかた教育研究会)

16:45~17:00 あいさつ(田中俊弥)

□ 参加費 1,000円(当日、受付にて。資料、茶菓子代を含む)